



南葵音楽文庫ミニレクチャー 南葵音楽文庫 2つの世界大戦とその狭間で

美山良夫

2018年8月18日（土）11:00 南葵音楽文庫閲覧室（和歌山県立図書館内）

南葵音楽文庫
和歌山県立図書館内
和歌山市西高松1-7-38
tel. 073-436-9500



徳川頼貞『薈庭楽話』市販版 1943 カバー

憶へば、侯爵が始めて英國に遊び、主としてケムブリッヂで音樂學を勉強せられたのは、第一次歐洲大戦の開戦の前後に跨る頃であつた。當時侯爵の教育指導者は故上田貞次郎氏であつたが、同氏が遽かに校命によつて歸朝することゝなつたので、偶々戰争の爲め留學地のドイツから英吉利へ引上げて來てゐた私が暫らく其後任を托せられることゝなり、(小泉信三、徳川頼貞『薈庭楽話』への「序」昭和16年11月)

本書が愈々印刷に附されようとする時、私は大東亜戦争の詔勅を拜した。(・・・) 皇軍の武勲を耳にして心の奥底から沸き起る感動を押さへることが出来なかつた。 (徳川頼貞 上掲書著者序への追記 昭和17年1月)

1915(大正4) 留学(1913~)を終えアメリカ経由で帰国
1916(大正5)秋 兵役後のB.トーマスより南葵楽堂設計図到着
1920(大正9)カミングス文庫(1917年購入)が到着
1922(大正11)外遊へ出発 プッチーニらと会う
1926-27(昭和1~2)ベルリンでフリートレンダー文庫等購入
1945(昭和20)4月慶應義塾図書館への寄託を解約5月2日搬出

第一次世界大戦 1914年7月28日～
1918年11月11日 アメリカ参戦
1917年4月6日
ハイパーインフレーション 1923年～
世界恐慌 1929年10月24日10時～
第二次世界大戦 1939年9月1日
(太平洋戦争 1941年11月)～1945
年9月2日)



喜多村進への書簡 1942(昭和17)年2月7日付け より

- ・数年前より計画し、貴台の協力をえた例の楽話が世に出ることになった
- ・最初の計画よりある部分を割愛した 昨年11月出版が延びた
- ・宮内当局が殿下がたの事項が多いことで発表を望まなかつた 欧米崇拜の念への危惧伝えられた
- ・序を寄せた人々は宮内官吏の狭い意見だと考えている
- ・原型のまま少部数分かち、割愛版を出版。貴台の半生を送られた仕事であり限定版を進呈する

喜多村進への書簡 1945(昭和20)年9月12日付け より

戦いの ち(オワ)りて見れば うらさむし 東亜共榮 夏の夜の夢
薈庭山荘にて 頼貞